

BRIDGE KIDS PROGRAMS 2024

3 月度 実行委員会 次第

●APCC ビジョン●

わたしたち APCC メンバーは、
OMOIYARI の心をもった地球市民となり
子どもたちの笑顔あふれる世界を実現します。

日時：2024 年 3 月 21 日（木）19:00～20:30

場所：ふくふくプラザ 5 階 502 会議室

議長：大西副実行委員長

総括：加地副実行委員長

1. 開会
2. ビジョンの唱和
3. 議事録作成人の指名
4. 議事次第ならびに配布資料の確認
5. 出席者確認
6. 実行委員長 挨拶

<本日の資料>



<BKP2024 カレンダー>



山下：本日も実行委員会の参加ありがとうございます。先日、部会長・副部会長の懇親会が行われたと聞いています。先月の実行委員長挨拶で、今のうちにコミュニケーション取っておいてほしいという話をさせてもらい、皆さんがそれを守ってくれて大変ありがとうございます。楽しかったと聞いており、7月にぜひ一致団結できるような一助になったのであれば本当に嬉しく思う。もし次回開催があれば、私も呼んでいただけたらと思う。そして、いよいよ、2023年度最後の事業であるチャレンジトリップが来週に迫っており、副実行委員長兼部会長の重責を担っていただいている児玉さん中心に色々頑張ってもらっている。私も先日の結団式に参加させていただき、子ども達の発表やソーラン節の出し物の練習などを見せてもらった。私が一番感動したのは恐らくシンガポール団員の男の子と思うが、ガクガクしながらも一生懸命発表をしている姿を見ていて熱い気持ちになった。団員にも少し話をし、今年の場合、モンゴルやモルディブなど普通だとなかなか気軽に行けない国が入っており、そういった国の人達は日本人をほとんど見たことがない人が多いと話させてもらった。つまり、団員は日本代表というか日本のイメージそのものになるということ。それだけではないが、日本人＝〇〇君、ホームステイに来てくれた〇〇君となると思うので、ぜひ日本代表として頑張ってくださいと伝えさせていただいた。これは今年の招聘事業に関しても同じことが言えるのではと思う。多くの国の子ども達は日本、福岡に来るためにすごく頑張って夢見て来てくれるが、実際に日本人に会ったことがない、会ったことはあるけどほんの少しという子も沢山いると思う。そういった子達にとっては、今回関わってくれるボランティアの皆さんが日本代表になると思います。なので、7月までの準備期間は沢山あるので、ぜひ日本人、福岡人の素晴らしさを彼らに伝えていただけたらと思うし、おもてなしを全てやってあげるということではなく、来た子ども達に対して、どういったおもてなしが日本代表として相応しいものなのかをこの団体としてしっかり考えていただきたい。よろしく願いいたします。今日はいよいよ議案が出てきたので、活発なご意見をぜひこのメンバー一人一つくらい出していただけたらと思う。どうぞよろしくお願いいたします。以上です。

7. 全体方針に係る事項

- ・【全体】 宿泊を伴うボランティア活動参加費について

山下：近年、物価が上がっている。特に宿泊費等は上がっている状況。例年マリンハウスやグローバルアリーナでの宿泊活動については一部をAPCCは負担している状況ですが、今回ボランティア参加費について値上げをさせていただきたいと思っております。上限を6000円として、1泊あたり2000円を負担していただくように変更します。ボランティアの負担、APCCの負担額についても記載しておりますので、ご理解をお願いいたします。

たします。

8. 依頼・報告・確認事項

(1)【ファミリー部会】ファミリー部会主催 ホームステイプログラム行事（協議④）

大上：議案読み上げ

福松：予算読み上げ

※補足※

福松：他部会との連携に関して、イベント部会との連携記載が漏れている。準備期間中においては、6月16日のホストファミリーリーダー会でイベントに関して説明していただけたらと思う。事業期間中については、イベント当日のホストファミリー引き渡しで連携する必要があるため、そこで密に連携を取っていただければと思う。次回の上程で、それを追記して作り直すのでよろしくお願いします。

（質問）

森田：3ページのボランティアプロモーション撮影に関して、7月15日のJAガイダンスは、ホームステイガイダンスで間違いないか？

大上：はい、その通りです。

森田：また、準備期間のところで、3回開催されるリーダー会の撮影には入らなくていいのか？昨年は行かせていただいて、活動の様子をFacebookにアップしていた。

大上：撮影の依頼を沢山しすぎて申し訳ないと思っているが、お願いできるのであれば撮影してもらいたい。

森田：都合がつく限り、撮影させてもらうようにする。

（質問）

田中：ホストファミリー研修会が1部と2部となっているが、ファミリーとしては1部へ行って、子どもを連れて2部へ参加するということなのか？

大上：全体を2部構成にしている。例えば、43団ある場合、21団と22団を午前の部と午後の部に分ける。そこで、大人は説明会、子どもはホストフレンド研修とバラバラに参加をしてもらうようにしている。

大西：部屋が分かれるということですか？

大上：はい、そうです。9ページ参考資料の商工会議所地図にある通り、406～408号室を一部屋にして保護者説明会を、401～405号室までを一部屋にしてホストフレンド研修を行う。保護者の説明会が終了後、保護者が自分の子どもを研修部屋に迎えに行き、解散という流れと作る予定にしている。

田中：自分の団が1部になったら、1部に参加して終わりという認識で大丈夫か？

大上：はい、そういうことです。

（意見）

前田：毎年トラブルになりがちなことだが、イベントや空港見送時にキャンプの部屋別ボランティアが子ども達に会いに行くことがあるが、その子達とホストファミリーの面識がないため、お互いにこの人誰だろうみたいになり、ちょっとしたトラブルになることがある。もし可能であれば、ホストファミリーさんへ事前に一言伝えてもらえると非常にありがたい。オリエン部会としては、ホストファミリーさんに会った時は挨拶をきちんとするようには伝えてるので、よろしくお願いします。

大上：今年の空港での見送りルールはどうなっているのか？

山下：基本的には昨年と同じルールの予定である。

大上：分かりました。ホストファミリーさんの方にも、キャンプの部屋別ボランティアさんについてはホストファミリーのつどいの中でさせていただきたいと思う。つどいの時に関連する皆さんに、こういった内容をホストファミリーに伝えてほしいと事前にお伺いを立てると思うので、そこにもぜひ一筆入れてもらえると抜けがないかと思う。

(2)【オリエンテーション部会】オリエンテーションキャンプ（協議④）

前田：議案読み上げ

神吉：予算読み上げ

(質問)

森田：到着時の記念撮影、協賛等に加え、期間中の様子も撮影したほうがいいか？

前田：ぜひお願いしたい。

森田：準備の部分も？記録として必要ですか？

前田：余裕があれば、撮影にきてもらえると嬉しい。追加で5/25.26宿泊研修についての撮影もお願いしたい。

森田：添付資料内、7/15 10:30～ ホストファミリーガイダンスと表記があるが、ファミリー部会議案内のホームステイガイダンスのことでOK？同じなら名称統一したほうがいい。

前田：ホームステイガイダンスに統一する。

(意見)

山下：執行部での意見にもあるが、ガイダンスマリンハウスに入るだけで入場料がかかる。他部会の参加費負担については検討するが、最小限の人数にしてほしい。

森田：昨年ガイダンスの際にシャペロンやこども大使がガイダンスに参加しなければならないが、いない、そこからどうしよう！という状況があった。その対応についても5月末までに各部会から提出してもらうという認識でOK？

前田：締切短くて申し訳ないが、ご協力いただきたい。

神吉：森田部会長のご質問は、そのガイダンス参加者等を明確にしてほしいということ？

森田：参加者だけでなく、どうやってこども達を集合させるか、例えば何時にどこにきてねという案内を誰がどうやってするか、来ない場合はどう対応するか？誰が？例えばガイダンスをする部会なのか、オリエンなのか等。そこを前もって決めておく必要があるのでは？

前田：基本的には5分前行動をお願いするが、開始と集合時間を調整したり、細かいスケジュールも含めて教えてもらいたい。通訳を兼ねたガイダンス担当がいるので、通訳など協力できると思う。そんな点も相談してほしいと思うので、5月末までに内容を教えてほしい。

大西：何かあった時に穴がでないように、しっかり役割分担をしていければと思う。

(3) 【ボランティアプロモーション部会】

・新規ボランティア登録説明会について

加治屋：3月18日時点でのボランティア登録者数読み上げ

3月18日の第5回新規ボランティア登録説明会では、オリエン部会の前田部会長、部屋別の高校生の野栄さん、ファミリー部会の大上部会長、スクールビジット部会の浅利さんが部会PRとして参加していただきありがとうございました。どの部会にしようか悩んでいる方も多いと思うが、やっぱり生で直接PRや経験談を話してもらえると、部会長さん達も手応えを感じられると思う。まだまだ部会によっては人手が足りてない部会もあると思うので、ぜひ次回3月29日の新規登録説明会へのご参加、PRをよろしく願いいたします。私達も再登録、新規登録を増やすために頑張っていきますので、ぜひご協力の方よろしく願いします。

・ボランティア交流会の開催について

吉川：第1回交流会は4月7日日曜日の開催で、先日参加に関するアンケートが事務局からメール配信されている。現時点での申込数は27名で、その内初めて交流会に参加する方が19名、これまでに参加経験がある方が8名となっている。まだまだ余裕があるので、ぜひお声かけをお願いします。第2回がメインでAPCCのことを知ってもらう内容にしているが、第1回も各部会のアピールや知ってもらう時間を計画して取っているので、実行委員会メンバーにも多く参加してもらいたい。私も昨年初めてのボランティアで交流会に参加したが、どの部会に入ったらいかが分からず、とりあえず2つだけにしてた。しかし、次第にこの部会もできそうなどと色んなことを知ることができた。APCCのことを知るのも大事だが、各部会のことをもっと知ってもらった方がボランティアの方にとっては様々な部会を選ぶ選択肢がすごく増えるのでいいかなと思う。第2回に比べると紹介などの時間が少ないとは思いますが、ぜひ各部会の実行委員会メンバーから1名でもいいので参加いただけますと幸いです。どうぞよろしく願いいたします。

9. 次回開催日について

日時：2024年 4月 25日（木）

場所：ふくふくプラザ 2F 201会議室
議案提出締切：
(執行部) 4/8月、(実行委員会) 4/23火

10. 事務局より

(新聞記事について)

岡本：西日本新聞の森さんという方が、10年間の2014年にチャレンジトリップでイポー団に帯同して記事を書いてくれたのがこの記事である。記事2ページ目に団員の名前が載っているが、森さんは今でもこの子達とつながりを持ってくれており、10年経った今、この子達がチャレンジトリップを通して何を学んだか、それが人生にどう影響しているのかを今回また記事にしてくれる予定となっている。記事は4月に掲載される予定で、今回の引率者である高根澤君をはじめ、全団のこども達にも帰国したタイミングで取材をすることにもなっている。また詳しい掲載日程は後ほどお知らせするが、まずはこの記事を読んでもらえると一連の物語が分かると思うので、ぜひ目を通していただけたらと思う。

(議案フォームの修正)

神吉：議案フォーム6番の安全管理に関する事項と7番の医療管理に関する事項があるが、7番の医療管理に関する事項の下に医療体制に関する事項が入ってしまっていたので、今回削除している。4月以降に議案上程がある部会は、修正した新しいフォームを使ってもらえたらと思う。

(御礼広告)

大谷：今週日曜日、西日本新聞朝刊に御礼広告を掲載する。夏の報告を中心にチャレンジトリップのことや夏の報告動画も視聴案内などが載る内容となっている。ボランティア代表として、加治屋さんのインタビューと写真も掲載されるのでぜひご覧ください。

(その他)

森田：4月1日からのボランティア活動保険の手続きができるようになっていく。19時までなので、今日はふくふくプラザのボランティアセンターは閉まっているが、APCCのルールで皆さん全員加入が求められますので、なるべく早めに加入をよろしくお願いします。

11. 総括

加地：ファミリー部会とオリエン部会の上程があり、感じたことを述べさせていただきたい。ファミリー部会について昨年はZoomで開催していたが、今回は対面でできることが増え、部会長の想いも詰め込まれているように思いました。オリエン部会については、クーラーの話が出ていたが、より安全安心にと動いているように思います。35年間問題なくやっていたのでそのままやっただけいいと思う面もあるが、新しくボランティアに入った方もいれば、長年関わっているメンバーもいて、皆の力を合わせて少しずつ変化しているんだと思いました。私が担当しているイベント部会にも新しい風があり、山下実行委員長の秘蔵っ子である年岡さんが加入され変化を期待しています。またボラプロの方、新規登録会にも皆さん参加いただいて、それぞれの部会のPRもして一人でも多く参加していただく、お声掛けをしてもらえばと思います。本日は誕生日の方もいらっしゃるのでは、皆様懇親会でお待ちしております。

12. 閉会